

「丘の上 結いスクエア」の公共空間(創発エリア)の愛称及び開館までの日程について

2階及び3階に設置する「公共空間(創発エリア)」は、飯田市公民館機能の移転に留まらず、図書館、平和学習、多文化共生や多様な市民活動を支援する機能を複合的に配置し、市民の創発へと誘導する場になる。現在、オープンに向けて、市民ワーキング(※1)で施設での活動内容の検討をしているところである。

「公共空間(創発エリア)」全体が、ヒト・モノ・コトが集まる「創発の場」であることを広く周知するためには、一般的な「公共空間(創発エリア)」という呼称では、伝わりにくいことから愛称について以下のとおり実施していく。

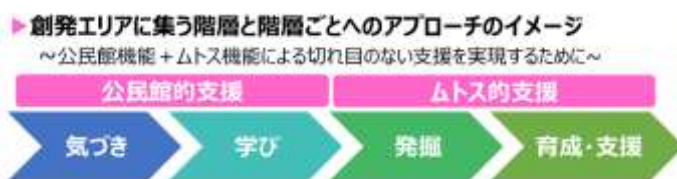
1 「公共空間(創発エリア)」の愛称について

(1) 考え方

「公共空間(創発エリア)」では、気づきから実践を支援し、市民のムトス活動のさらなる推進を図ることを目的としている。

様々な機能により構成される「公共空間(創発エリア)」において、公民館が大切にする「気づき」「学び」の場を出発点とし、

学ぶことからの交流が育まれ、自らの力でよりよい地域をつくる自発的意思力に基づく実践活動が行われるとともに市民活動が活発になることを目指し、「公共空間(創発エリア)」の愛称は自らの力でよりよい地域をつくる自発的意思力を示す「ムトス」を冠した名称としたい。



(2) 決定方法と愛称案について

市民ワーキングでの意見を参考に、市が複数の案を提示し、再度、市民ワーキングに諮った上で、市が決定する。

案	名称	意味
案1	ムトスひろば(広場)	誰もが気軽に立ち寄れる「ひろば」になることを願って。広場が「広い場所」「集まる場所」「話し合いの場所」の意味であることから。
案2	ムトスぷらざ(プラザ)	誰もが気軽に立ち寄れる「ひろば」になることを願って。プラザがスペイン語で、人の多く集まる場所・広場・市場の意味であることから。
案3	ムトスステーション	学ぶ拠点・創発の拠点となることを願って。また、ステーション(駅)は、「ヒト」「モノ」「コト」が集まる場所であることから。

2 今後の日程

令和4年3月29日	市民ワーキング
令和4年4月6日	飯田市定例記者会見
	公共空間(創発エリア)開館案内及び愛称公表
令和4年5月17日	公共空間(創発エリア)内覧会(午後を想定)
令和4年5月19日	公共空間(創発エリア)一般供用開始

(※1 市民ワーキング)

「公共空間(創発エリア)」に導入する主な機能(公民館、図書館、平和学習、多文化共生)と中心市街地活性化の観点から、これらの分野で市民活動等を行っている関係者、高校関係者、公民館運営審議委員、ムトス推進委員の皆さん等13名で構成。

「公共空間(創発エリア)」の企画・準備段階より「公共空間(創発エリア)」のあり方や活動内容を検討している。

現在、市民ワーキングのもとに高校生や若者世代のワーキングも立ち上げ活動や運営の検討している。